

## 指標の意義

- 他施設の状況知り比較することで、職員のリスク意識を高め、安全管理をすすめる。

## 指標の計算式、分母・分子の解釈

	各指標の計算式と分母・分子の項目名	分母・分子の解釈
分子	注射針およびそれに準ずる鋭利な器具による皮膚の損傷からの 血液 曝露事例件数	
分母		
収集 期間	1ヶ月 毎	
調整 方法	職員・患者問わず	

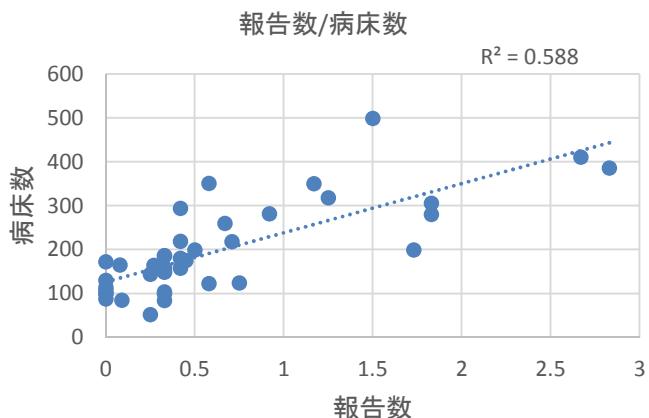
## 考察

最小値 0.00 25%値 0.23 中央値 0.42 75%値 1.17 最大値 2.33

回答病院 76

中央値は0.52から0.42と低下しているが、血液曝露事例の数は医療行為数と相関するため、件数/延べ入院数×1000の中央値を比較すると、2016年、2017年とも0.10、と変化は見られません。

指標と病床数は正の相関にあり、2016年よりその傾向が強まっています。病床数が増加すると病院の機能も複雑になり、血液暴露事故のリスクが増加するのではないかと思われます。以前は針刺し対策が中心でしたが、観血的医療行為における暴露対策が今後重要であると思われます。



## 改善・運用事例など

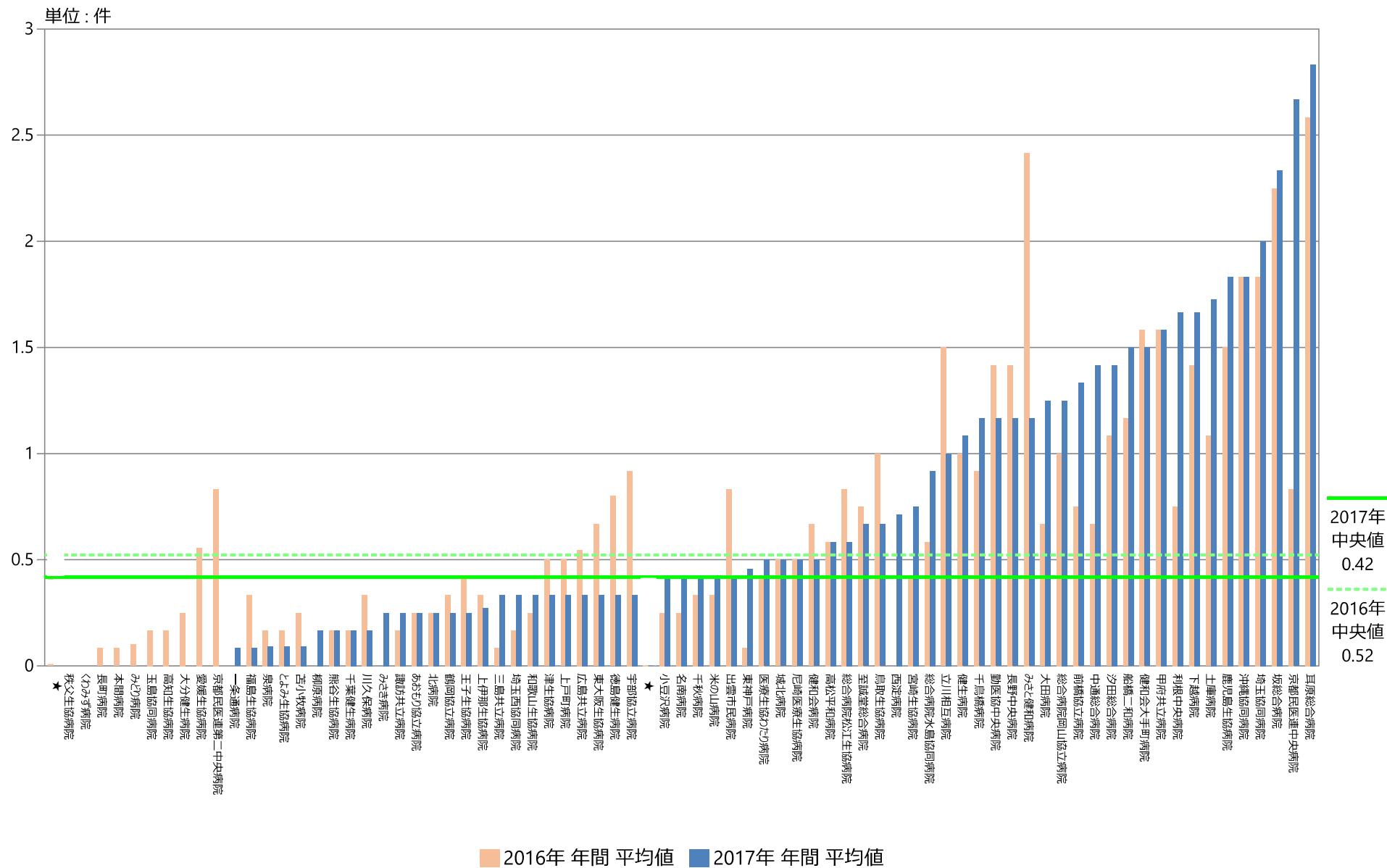
- 医療安全委員会・感染防止対策委員会で管理している。
- ICC・LN会議で報告。必要時改善策立案。
- 新人教育で再度対策について発信する。
- インシュリン注射針刺し防止を感染対策、医療安全と協働して注意喚起・ヘルパー学習会開催。
- 年度末に総括会議で他病院とベンチマークしフィードバックしている。
- 昨年度、血培用のホルダーと誤針予防のインスリン針を導入した。

指標12：注射針およびそれに準ずる鋭利な器具による皮膚の損傷からの血液曝露事例件数

指標12実数：注射針およびそれに準ずる鋭利な器具による皮膚の損傷からの血液曝露事例件数

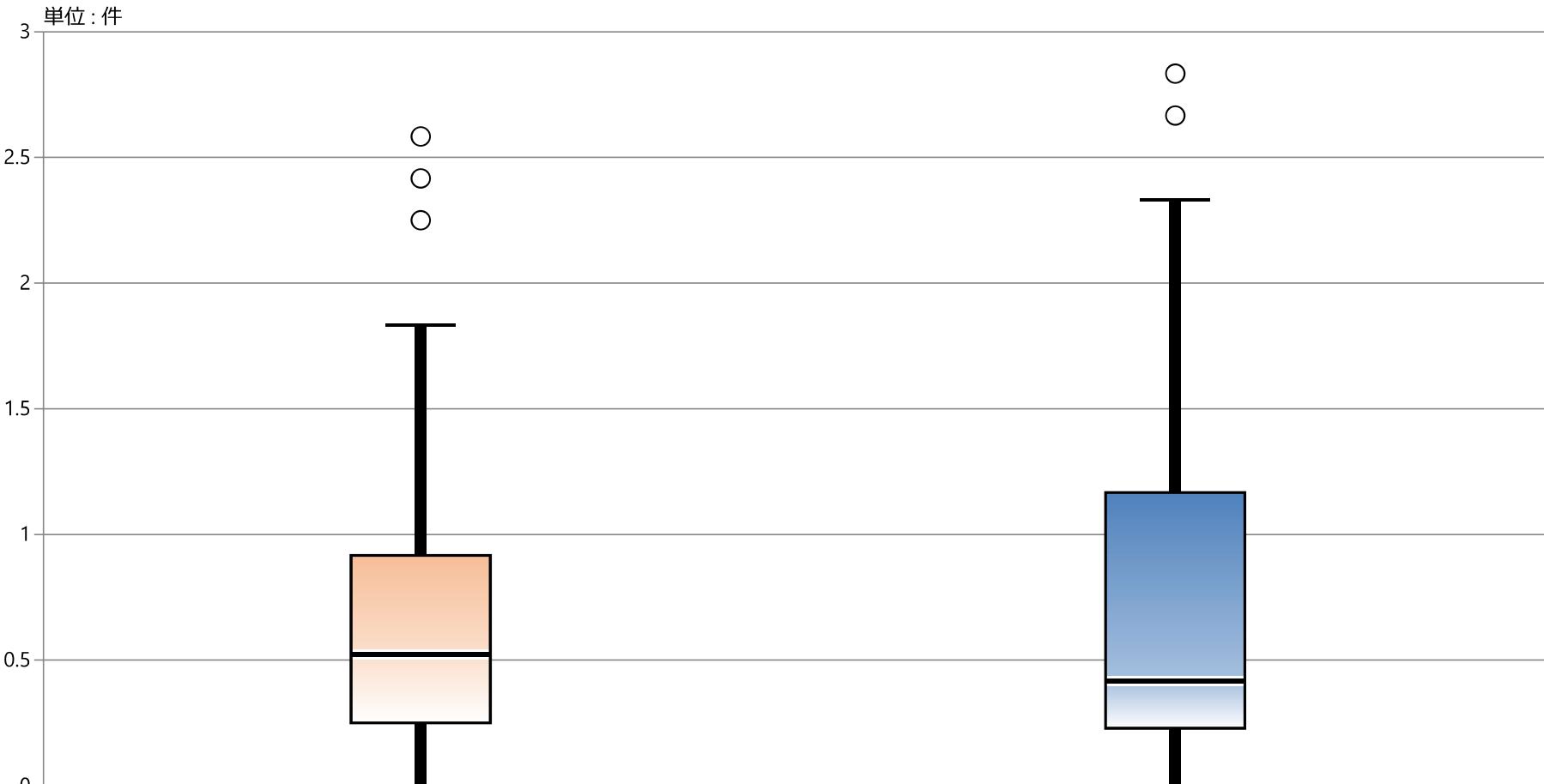
	指標12実数	
	件	
	2016年 年間 平均値	2017年 年間 平均値
勤医協中央病院	1.42	1.17
勤医協札幌病院	—	—
苫小牧病院	0.25	0.09
一条通病院	0.00	0.08
函館稟北病院	—	—
★		
健生病院	1.00	1.08
あおもり協立病院	0.25	0.25
川久保病院	0.33	0.17
坂総合病院	2.25	2.33
長町病院	0.08	0.00
泉病院	0.17	0.09
中通総合病院	0.67	1.42
本間病院	0.08	0.00
鶴岡協立病院	0.33	0.25
至誠堂総合病院	0.75	0.67
医療生協わたり病院	0.42	0.50
前橋協立病院	0.75	1.33
利根中央病院	0.75	1.67
北毛病院	—	—
埼玉協同病院	1.83	2.00
埼玉西協同病院	0.17	0.33
熊谷生協病院	0.17	0.17
秩父生協病院	—	0.00
千葉健生病院	0.17	0.17
船橋二和病院	1.17	1.50
柳原病院	—	0.17
みさと健和病院	2.42	1.17
小豆沢病院	0.25	0.42
大泉生協病院	—	—
大田病院	0.67	1.25
★		
立川相互病院	1.50	1.00
王子生協病院	0.42	0.25
★		
汐田総合病院	1.08	1.42
下越病院	1.42	1.67
★		
城北病院	0.50	0.50
甲府共立病院	1.58	1.58
★		
石和共立病院	—	—
長野中央病院	1.42	1.17
健和会病院	0.67	0.50
諫訪共立病院	0.17	0.25
★		
塩尻協立病院	—	—
上伊那生協病院	0.33	0.27
みどり病院	0.10	0.00
三島共立病院	0.08	0.33
協立総合病院	—	—
総合病院南生協病院	—	—
北病院	0.25	0.25
名南病院	0.25	0.42
千秋病院	0.33	0.42
津生協病院	0.50	0.33
京都民医連第二中央病院	0.83	0.00
京都民医連中央病院	0.83	2.67
東大阪生協病院	0.67	0.33
西淀病院	—	0.71
耳原総合病院	2.58	2.83
★		
東神戸病院	0.08	0.45
尼崎医療生協病院	0.50	0.50
おかたに病院	—	—
土庫病院	1.08	1.73
和歌山生協病院	0.25	0.33
鳥取生協病院	1.00	0.67
総合病院松江生協病院	0.83	0.58
出雲市民病院	0.83	0.42
総合病院水島協同病院	0.58	0.92
玉島協同病院	0.17	0.00
総合病院岡山協立病院	1.00	1.25
福島生協病院	0.33	0.08
広島共立病院	0.55	0.33
宇部協立病院	0.92	0.33
徳島健生病院	0.80	0.33
高松平和病院	0.58	0.58
愛媛生協病院	0.56	0.00
高知生協病院	0.17	0.00
健和会大手町病院	1.58	1.50
千鳥橋病院	0.92	1.17
米の山病院	0.33	0.42
みさき病院	0.00	0.25
上戸町病院	0.50	0.33
くわみず病院	0.00	0.00
大分健生病院	0.25	0.00
宮崎生協病院	0.42	0.75
鹿児島生協病院	1.50	1.83
国分生協病院	—	—
沖縄協同病院	1.83	1.83
中部協同病院	—	—
ヒヨミ生協病院	0.17	0.09
最大値(外れ値を除く)	1.83	2.33
75%値	0.92	1.17
中央値	0.52	0.42
25%値	0.25	0.23
最小値(外れ値を除く)	0.00	0.00

## 指標12実数：注射針およびそれに準ずる鋭利な器具による皮膚の損傷からの血液曝露事例件数



## 指標12実数：注射針およびそれに準ずる鋭利な器具による皮膚の損傷からの血液曝露事例件数

118



\* 外れ値を除く

	2016年 年間 平均値
最大値*	1.83
75%値	0.92
中央値	0.52
25%値	0.25
最小値*	0.00

2017年 年間 平均値

最大値*	2.33
75%値	1.17
中央値	0.42
25%値	0.23
最小値*	0.00